

中心市街地活性化と観光行政について



柳澤 明 議員

質問 ラクスマリーナは、一時的に市が株を保有するが、民間運営が望ましく、しかるべき時が来たら、当然民間に運営をお願いするという前部長の答弁に対する新部長の見解を伺う。

産業部長 ラクスマリーナの本市観光における位置付けは、平成21年に策定した土浦市観光基本計画において、観光振興戦略の主要事業として、観光遊覧事業等が謳われている。ラクスマリーナは、本市霞ヶ浦観光を推進する上で唯一の施設事業者であることから、さらなる経営努力や関係機関等との連携により、霞ヶ浦観光への貢献が強く望まれている。

今後の在り方は、一時的に市が株を取得するが、しかるべき時期が来たら、民間が運営することが望ましいとの考え方は前部長と同じである。

市としては、霞ヶ浦を活かした観光振興を推進するため、さらなる連携と支援を行うが、今後は、経営状況等を十分勘案して、民間による経営を判断していく必要があると考えている。

(掲載以外の質問事項)
・グランドデザインと中心市街地活性化基本計画
・モール505について



ホワイタイリス号

小中一貫教育導入について



鈴木一彦 議員

質問 小中一貫教育導入についての市の方向性について、

新治中学校区の住民は興味を持ち注目し、期待していることから伺う。

教育長 現在、本市では、真鍋小学校と土浦第二中学校を、連携型の小中一貫教育パイロット校として指定し、実践的な研究を推進しており、この取り組みが一つの刺激となり、他の中学校区でもやらないのかという意見が出ている。

今後は、すべての中学校区で小中一貫教育を推進してまいりたいと考えており、具体的には、校長先生方による検討委員会を発足させ、それを受けて、各学校のリーダーとなる先生方を中心に、中学校区ごとの課題と教育目標に応じた具体的な実践を立てながら展開をしていきたい。

本市で求める小中一貫教育は、日々の教育活動の中で実効性ある教育を展開することと捉えており、小中学校の教職員が相互理解を深め、系統的な実践によって知、徳、体のバランスのとれた子どもの育成に取り組むことと考えている。



新市庁舎建設計画候補地に関して



井坂正典 議員

(掲載以外の質問事項)
・小中学校適正配置について
・ゴミ減量大作戦について

質問 土浦市庁舎建設審議会の答申である2カ所の候補地から、イトーヨーカドー土浦店跡地を選定することに至った経緯について伺う。

市長 イトーヨーカドー土浦店の、来年2月の閉店により生じる負の影響を限りなく小さくすることを第一義的に捉え検討を進めてきた。

同店跡を市庁舎とする可能性について、耐震性、費用、期間の3点から検討したところ、十分可能である確認をとれたので、市議会の新庁舎建設特別委員会からの具申を踏まえ、候補地に加えることを審議会に提案し、審議をお願いした。

審議会では、6回の開催を経て、新庁舎建設にふさわし

い候補地を2カ所とする決定をされ、最終的な判断は市長に委ねられた。

審議会の経過を踏まえ、答申の内容を十分斟酌させていただき、中央一丁目地区に比べ、経済性、迅速性、交通の利便性等の優位性に着目し、ウララーを新庁舎の建設候補地とする判断をしたところである。

(掲載以外の質問事項)
・土浦市バリアフリー計画の進捗と今後の計画について

寄附の禁止について

政治家（候補者、立候補予定者、現に公職にある者）が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、政治家本人が出席する場合の結婚祝いや香典などの特定の場合を除き、法律で禁止されています。有権者が求めてもいけません。

